

學小
新
算
術
教尋
員常
用科
卷
三

11
12

K121.4
24.1
3

K121.4

24.1

3

卷 三 目 次



第三篇

百より千までの数の計へ方読み方書き方及び其の加減乗除

第一章

千までの数の計へ方読み方及び書き方.....一

第二章

五百以下の数の加法.....四

某數位の和が高位に上らざるもの.....四

同問題

.....五

單位の和のみ高位に上るもの.....七

同問題

.....七

某數位の和が高位に上るものにて和數二以上のもの.....九

同問題

.....一〇

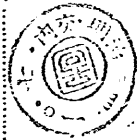
練習問題

.....一二

第三章

五百以下の数の減法.....一五

某數位の減數が被減數より小なるもの.....一六



次

同問題……………一六

某數位の減數は被減數より大なるもの(一)……………一八

某數位の減數は被減數より大なるもの(二)……………二一

同問題……………二二

二數の和を減數とするもの……………二四

同問題……………二五

練習問題……………二七

第四章 加法及び減法の檢算法……………三〇

加法の檢算法……………三一

減法の檢算法……………三二

第五章 五百以下の數の加減法應用問題……………三四

第六章 五百以下の數の乘法及び問題……………三九

乘數單位なるもの……………四〇

同問題……………四一

乘數二位なるもの……………四二

同問題……………四四

乘數三位なるもの……………四五

同問題……………四六

二數の和若くば差を被乘數となすもの……………四八

同問題……………四八

練習問題……………五〇

第七章 五百以下の數の除法及び問題……………五四

除數單位なるもの……………五五

同問題……………五五

除數單位にして商の末位零あるもの(一)……………五七

除數單位にして商の末位零あるもの(二)……………五七

同問題……………五八

除數單位にして商の中間に零あるもの……………五九

同問題……………五九

除数二位にして商の末位零となるもの……………六二
 同問題……………六二
 除数二位のもの……………六四
 同問題……………六四
 除数三位なるもの……………六六
 同問題……………六七
 練習問題……………六九
 第八章 乗法及び除法の検算法……………七二
 乗法の検算法……………七二
 除法の検算法……………七四
 第九章 五百以下の数の乗除法應用問題……………七八
 第十章 千以下の数の加法問題……………八一
 第十一章 千以下の数の減法問題……………八五
 第十二章 千以下の数の減法應用問題……………八八

第十三章 千以下の数の乗法……………九二
 乗法問題……………九二
 第十四章 千以下の数の除法……………九五
 除法問題……………九六
 第十五章 算式上の練習及び乗除法應用問題……………一〇〇
 練習問題……………一〇四
 第十六章 千以下の数の加減乗除法應用問題……………一〇九

小學新算術 教員用卷 三

第三篇

百より千までの数の計へ方 読み方 書き方
及びその加減乗除

第一章

千までの数の計へ方 読み方 及び書き方

〔教授の要旨〕 先づ百に一を足せば百一、百に十を足せば百十、百に十一を足せば百十一、百に百を足せば二百、百に九百を足せば千となること、千までの数の読み方は、十位の数の読み方の上に、いくひやくと云ふ語の添ふ外十位の数を讀むと同じきこと等を會得せしめ、且つ前二篇に準じ、總合分解を充分に練習すべし。

次の如き問答をなして、百位以上の数の読み方及び書き方

千までの数の計へ方 読み方 及び書き方

を授くべし。

百に、次第に百づつ足して、九百までの數を答へなさい。
 五百と八百との間には、百とびにて幾つありますか。
 九百に百を足したる數を何と云ひますか。 (せん)
 せんなる數は、千なる文字にて表はす。

次の數を讀め。

百五 百九十五 二百 二百三十九 三百六十八
 四百五十六 五百七十一 六百 六百三十 七百六
 八百十六 九百二十五 九百八十 一千 三百二十八
 六百五十 五百七十四 二百九十六

十位の左の方は百位にして、百位の左の方は千位なり、左の如し。

一の位	0	0	0	0
十の位	0	0	0	1
百の位	1	0	1	0
千の位	1	0	0	0

次の數を讀め。

103 138 200 238 321 393 420 537
 682 793 805 984 1000 102 437 574
 800

次の數を算用數字に書きなほせ。

二百三十九 二百七 五百 四百五十 六百九
 五百十八 七百二十一 八百九十九 九百七十二
 三百六十四 二百八 九百 一千 八百 五百一
 三百六十 四百三十二

次の數字を日本數字に書きなほせ。

837	695	407	209	192	273	351	504
520	600	708	365	803	975	1000	208
300	983	970					

第二章 五百以下の數の加法

〔教授の要旨〕 大數の加法と雖も、皆一位數の加法の應用に過ぎず、故に其の教授法の如きも、前二篇に準じて授くべし、而して、こゝにて、和といふ名稱を授く。

如何なる數を加ふるにも、初は必ず之を分解し、又總合したる後に、通常の方法を授くべし。

例題第一 (某數位の和が高位に上らざるもの)

百五十六と三十二との和は何程なるか。

$$\begin{array}{r} \text{算} \quad 32 \\ \text{式} \quad 156 + \\ \hline \quad \quad 156 \\ \quad \quad \quad 32 \\ \quad \quad \quad \quad 2 \\ \hline \quad \quad 188 \end{array}$$

運 算

答 百 八 十 八

分 解

$$\begin{array}{r} 156 = 100 + 50 + 6 \\ + 32 = \quad \quad 30 + 2 \\ \hline 188 = 100 + 80 + 8 \end{array}$$

(前篇に精しく説きたるを以て此處にては兒童自身にかくせしむべし。以下倣之)

問題

- (一) $123 + 246 + 20 = 389$ (二) $105 + 351 + 43 = 499$
- (三) $320 + 104 + 35 = 459$ (四) $115 + 201 + 33 = 349$
- (五) $136 + 230 + 12 = 378$
- (六) 糸一尺三寸二分と、二尺五寸三分と、一寸二分とをよすれば、幾何となるか。 答三尺九寸七分
- (七) 松の木二百四十二本と、百十三本と、三十本とあり、合せ

て幾本なるか。

答三百八十五本

(八) 油三升五合と、二升三合と、四升とを合すれば、何程となるか。

答九升八合

(九) 倉の中に、米二百十一俵と、麥百四十三俵とあり、合せて幾俵なるか。

答三百五十四俵

(一〇) 金十五錢六厘と、二十錢二厘と、三錢とを合すれば、何程となるか。

答三十八錢八厘

〔諸算〕 (一) 二十三と十七と十五とをよすれば幾何。

答五十五

(二) 桃十五を三人に等しく分ければ、一人いくつづつとなるか。

答五

(三) 一本二錢三厘の鉛筆四本を買ふときは、この代何程となるか。

例題第二 (單位の和のみ高位に上るもの)

本二百三十九冊と、百五十六冊との和は何程か。

答九錢五厘

算 式 $239 + 156$
 算 運 $\begin{array}{r} 239 \\ + 156 \\ \hline 395 \end{array}$
 答三百九十五冊 分解

$$\begin{array}{r} 239 = 200 + 30 + 9 \\ + 156 = 100 + 50 + 6 \\ \hline 395 = 300 + 80 + 15 \end{array}$$

問題

(一) $234 + 176 = 410$ (二) $263 + 157 = 420$

(三) $368 + 125 = 493$ (四) $175 + 236 = 411$

(五) $428 + 64 = 492$

(六) 或人人力車に乗りて、七十二町と、二十八町との道を行きたりといふ、合計幾町を行きしか。

答百町

八

(七) 一冊二十八錢五厘の本と、十六錢八厘の本とを買へば、いくらとなるか。 答四十五錢三厘

(八) 牧場に牛二百八十八匹と、馬百七十五匹とあり、合せて幾匹なるか。 答四百六十三匹

(九) 公園に梅百四十八本と櫻二百五十三本とあり、合せて幾本なりや。 答四百一本

(一〇) 布二丈四尺五寸と、一丈六尺四寸とをつぎ合すれば、其の長さ何程となるか。

答四丈九寸

[語算] (一) 百と五十と二百との和は何程なるか。

答三百五十

(二) 竹二十四本と十八本と五十八本とをよすれば幾本なるか。

答百本

(三) 金二十錢もてる内にて十二錢五厘の買物をなせり、尙ほ何程をあますか。 答七錢五厘

例題第三 (某數位の和が高位に上るものにて、和數二以上のもの)

松二十三本と、四十九本と、七十二本と、六十八本と、百六十九本と、四十三本との和は何程なるか。

式 算

$$23 + 49 + 72 + 68 + 169 + 43$$

算 運

$$\begin{array}{r} 23 \\ 49 \\ 72 \\ 68 \\ 169 \\ + 43 \\ \hline 242 \end{array}$$

答四百二十四本

分解略す

10
 數字の行と列を正しく書し、上より順に加へしむべし、即ち
 3に9を加へて12、12に2を加へて14、14に8を加へて22、22
 に9を加へて31、31に3を加へて34となるに、より3を覚え
 置きて4を一位數の下に書き、次に十位の数とさきの3と
 を加へてその數を書くこと前の如くすべし、りに3を加へ
 て12、8に2を加へて10、12に10を加へて22等の如く計へし
 むべからず。

問題

- (一) $152 + 68 + 70 + 205 = 495$
- (二) $343 + 18 + 25 + 108 = 494$
- (三) $275 + 102 + 50 + 73 = 500$
- (四) $176 + 214 + 53 + 56 = 499$
- (五) $218 + 96 + 124 + 5 = 443$

(六) 鹽二百四十五俵と、百六十三俵と、五十俵とあり、合せて
 幾俵なるか。 答四百五十八俵

(七) 桃百七十五個と、百八十六個と、百二十三個とをよすれ
 ば、幾個となるか。 答四百八十四個

(八) 杉板上百二十五枚と、中二百四十枚と、下百枚とあり、合
 せて幾枚なるか。 答四百六十五枚

(九) 二圓二十五錢と、一圓七十六錢と、八十錢とを加ふれば、
 幾何なるか。 答四圓八十一錢

(一〇) 米二石五斗四升と、一石八斗六升と、五斗三升とを合
 すれば、幾何となるか。 答四石九斗三升

〔注意〕 量の名稱關係中石と斗とを教ふべし。

〔語算〕

- (一) 一本八厘づつの石筆十本買へば、この代何程なるか。
 答八錢
- (二) 右の金を四人にて出せば、一人何程づつなるか。
 答二錢
- (三) 十五と十八と十七とをよせて、三十三ひけば、残りはいくつなるか。
 答十七

練習問題

- (一) $37 + 250 = 296$
- (二) $62 + 238 + 125 = 425$
- (三) $29 + 348 + 123 = 500$
- (四) $55 + 276 + 80 = 411$
- (五) $218 + 197 + 15 = 430$
- (六) 二百九十八と、八十二と、百十五との和は、幾何なるか。

答四百九十五

- (七) 桃百三十八個と、二百五十四個とあり、合せて幾何なるか。
 答三百九十二個

- (八) 米三百六十七俵と、九十九俵と、七俵との和は、幾俵なるか。
 答四百七十三俵

- (九) 或る學校に、尋常科男生二百九十四人と、高等科男生百七十八人とあり、合計幾人なるか。
 答四百七十二人

- (一〇) 同じ學校に、尋常科女生二百三十四人と、高等科女生百六十六人とあり、合計幾人なるか。
 答四百人

(一一) $7 + 285 + 108 = 400$

(一一) $35 + 60 + 337 = 432$

(一二) $47 + 19 + 421 = 487$

(一三) $245 + 56 + 185 = 486$

(一四) $37 + 327 + 123 = 487$

(一五) 反物二百五十三反と、百五十四反とあり、合せて幾反なるか。 答四百七反

(一六) 米二石五斗六升と、一石三斗八升と、七斗五升との和は幾何なるか。 答四石六斗九升

(一七) 杉六十二本と、三百九十四本と、四十四本との和は、幾何なるか。 答五百本

(一八) 金二圓三十八錢と、九十七錢と、一圓五十錢との和は、幾何なるか。 答四圓八十五錢

(一九) 糸一丈五尺四寸と、二丈四尺三寸と、六尺九寸と二尺二寸とをつぎ合すれば、何程の長さとなるか。 答四丈八尺八寸

(二〇) [諸算] (一) 油一升二合と、二升五合と三合とをよすれば幾何なるか。 答四升

(二) 地代一坪三圓なるときは十五坪の地代幾何なるか。 答四十五圓

(三) 茶を植うるに、一坪に四株づつとせば右の地に幾株を植ゑ得べきか。 答六十株

第三章 五百以下の数の減法

[教授の要旨及び方法] 大数の減法と雖も、皆一位數

と一位數、又は、二位數と一位數との減法の應用に過ぎず、其

の教授法の如きも第二篇第三章の例に準じて授くべし、而して此にて差といふ名稱を授く。如何なる數を引くにも、初は之を分解し、次に之を總合したる後、通常の方法を授くべし。

例題第一 (某數位の減數が被減數より小なるもの)
三百九十六より三十二を減ぜよ。

$$\begin{array}{r} \text{算 式} \\ 396 - 32 \\ \text{算 運} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 396 \\ - 32 \\ \hline 364 \end{array}$$

答三百六十四 分解

$$\begin{array}{r} 396 = 300 + 90 + 6 \\ - 32 = -30 + 2 \\ \hline 364 = 300 + 60 + 4 \end{array}$$

(前篇に精しく説きたるを以て、此處にては兒童各自にせしむべし、以下倣之)

問題

- (一) $475 - 234 = 241$
- (二) $486 - 125 - 40 = 321$
- (三) $397 - 234 - 62 = 101$
- (四) $385 - 241 - 32 = 112$
- (五) $450 - 150 = 300$

(六) 或人、四百八十八坪の地を有し、初に百二十五坪の地を貸し、次に百三十坪を貸したりといふ、尚ほ幾坪残れるか。
答二百三十三坪

(七) 金四百八十圓を銀行に預け置き、初に五十圓を引き出し、次に二百二十圓を引き出し、尚ほ幾何の預金あるか。
答二百十圓

(八) 百二十八に幾何を足せば、三百五十八となるか。

答二百三十

(九) 布四丈八尺五寸の内、三丈四尺二寸をきれば、残りは幾何なるか。
答一丈四尺三寸

(一〇) 四圓六十八錢を持つてゐる内にて、三圓二十五錢と四十錢との買物をなせり、殘金幾何なるか。

答一圓三錢

〔詰算〕 (一) 四十三と十七とにいくつたせば八十となるか。

答二十

(二) くり四十八を十六人の子どもにひとしく分たば一人の得る所いくつなるか。
答三

(三) 右のくり一錢に入つる時はすべての價は何程となるか。

答六錢

例題第二 (乗數位の減數は被減數より大なるもの)

米四斗五升六合の内、二斗三升八合をとれば、残りは幾何なるか。

算 式
運 算
456 - 238

$$\begin{array}{r} 456 \\ -238 \\ \hline 218 \end{array}$$

答二斗一升八合

分 解

$$\begin{array}{l} 456 = 400 + 46 + 10 \\ -238 = 200 + 30 + 8 \\ \hline 218 = 200 + 16 + 2 \end{array}$$

(一) 368 - 249 = 119 (二) 356 - 127 - 36 = 193

(三) 454 - 235 - 79 = 140 (四) 500 - 250 - 125 = 125

(五) 300 - 178 = 122

(六) 或る人初に百二十八圓、次に二百圓の資本を卸して、商をなし、數月にして計算せしに、現金五百圓ありしといふ、

幾何の利金を得しか。答百七十二圓

二〇

(七) 上中下三種の茶合せて四百斤あり、内上茶は八十斤、中茶は百二十斤にして、餘は下茶なりといふ、下茶の斤數幾何なるか。 答二百斤

(八) 米三百俵を倉に入るゝに、初め七十俵、次に百二十俵入れたりといふ、尚ほ幾俵残れるか。

答百十俵

(九) 一隊の人數七百六十五人あり、内士官は二十人、下士官は八十五人にして、餘は兵士なり、兵士の數は幾人ぞ。

答六百六十人

(一〇) さと一三百五十匁あり、初に二百四十五匁、次に六十匁を賣るときは、残り幾何なるか。

答四十二匁

(注意) 衡の名稱中、匁を教ふべし。

〔詰算〕 (一) 三人各二十五圓づつを出し合せて商をなさんとす、總金高何程なるか。 答七十五圓

(二) 右の金を以て、商をなすこと數月にして、元利を計算せしに、百二圓の現在金なりといふ、利益は何程なるか。

答二十七圓

(三) 右の利金を三人に配分すれば、一人の取り分幾何づつなるか。 答九圓

例題第三 (同前)

金四百七十六圓持てる内、三百九十七圓を銀行に預けたり、尚ほ手許に幾何あるか。

算 式

$$476 - 397$$

運 算

$$\begin{array}{r} 476 \\ -397 \\ \hline 79 \end{array}$$

答金七十九圓

分 解

$$\begin{array}{r} 476 = 370 + 96 + 10 \\ -397 = 300 + 90 + 7 \\ \hline 79 = 70 + 6 + 3 \end{array}$$

三二

問題

- (一) $437 - 288 = 149$
- (二) $253 - 176 = 77$
- (三) $394 - 172 - 38 = 184$
- (四) $423 - 175 - 189 = 59$
- (五) $200 - 89 - 76 = 35$
- (六) 四百人の兵士あり、内騎兵は七十五人、砲兵は三十八人

にして、餘は歩兵なりといふ、歩兵の數幾人なるか。

答二百八十七人

- (七) 米四斗五升六合の内、一斗八升四合と二斗五升とをとれば、残り何程なるか。

答二升二合

- (八) 松杉合せて三百本あり、内松は、百三十六本なりといふ、杉の數は幾本なるか。

答百六十四本

- (九) 米三百五十六俵あり、之を他へ移すに、既に百七十俵を運び終れりといふ、尚ほ幾俵を殘せるか。

答百八十六俵

- (一〇) 和本と洋本と合せて五百冊あり、内和本は三百七十

五冊なりといふ、洋本は幾冊なるか。

二四

答百二十五冊

〔詰算〕

(一) 三十六は七十よりいくつ少き數なるか。

答三十四

(二) 十八を四倍したる數は八十よりいくつ少きか。

答八

(三) 二十錢の買物をして、二錢銅貨にて拂はんとす銅貨の數いくつなるか。

答十

例題第四 (二數の和を減數とするもの)

筆四百六十七本より、百二十四本と二百七十二本の和を減ずれば、残り何程なるか。

(1) 式算

$$467 - 124 + 272$$

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 124 \\ + 272 \\ \hline 396 \\ 467 \\ - 396 \\ \hline 71 \end{array}$$

答七十一本

(2) 式算

$$467 - 124 - 272$$

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 467 \\ - 124 \\ \hline 343 \\ - 272 \\ \hline 71 \end{array}$$

(1) (2) 共に分解略す

(注意)

或る數の和を、某數より引きたるものは此等の數を次第に某數より引きたるものに等し、即ち

$$467 - 124 + 272 = 467 - 124 - 272 \text{ なることを教へし。}$$

問題

(一) $456 - 248 + 143 = 65$

(二) $382 - 125 + 67 = 190$

(三) $208 - 75 + 48 = 85$

(四) $310 - 120 + 91 = 100$

(五) $476 - 304 + 76 + 83 + 5 = 108$

二六

(六) 炭五百俵の内、二百四十六俵と、百七十五俵とを賣り拂へり、残りは幾俵なるか。

答七十九俵

(七) 米五斗の内、一斗三升五合と、一斗二升と、三升八合とをとれば、残りは何程なるか。

答二斗七合

(八) 金十八錢と、二圓二十五錢と一圓二十錢との買物をなし、五圓紙幣にて拂ふときは、幾何のつりなるか。

答一圓三十七錢

(九) 材木三百七十八本の内、二百四十五本と、七十八本のの和を減すれば、残り幾何なるか。

答五十五本

(一〇) 金五圓の内より、三圓四十五錢と、七十八錢との和を減すれば、残り幾何なるか。

答七十七錢

〔諸算〕 (一) 五十錢銀貨を以て、十二錢と十八錢との拂ひをせり、残り何程あるか。

答二十錢

(二) 大小の筆合せて百本あり、内大の筆は四十五本なりといふ、小の數幾本なるか。

答五十五本

(三) 三十二と十八と二十との和は百よりいくつ少きか。

答三十

練習問題

(I) $438 - 329 = 109$

(II) $347 - 334 = 113$

二七

(三) $334 - 298 = 36$

(四) $145 - 378 = 67$

(五) $249 - 188 = 61$

(六) 百八十五と六十七との差は何程なるか。

答百十八

(七) 米二百七十六俵と九十一俵との差は幾俵なるか。

答百八十五俵

(八) 米三百八十四俵の内、百五十二俵を賣れば、残りは幾俵なるか。

答二百三十二俵

(九) 金四百六十八圓の内、二百七十二圓を銀行に預けたり、尙ほ殘金は何程なるか。

答百九十六圓

(一〇) さとー四百八十六匁の内、三百五十八匁を他にうつさば、残りは何程なるか。

答百二十八匁

(一一) $245 - 146 = 99$

(一二) $423 - 342 = 81$

(一三) $331 - 243 = 88$

(一四) $384 - 314 = 70$

(一五) $492 - 432 = 60$

(一六) 金三圓二十五錢は、一圓九十七錢より何程多きか。

答一圓三十二錢

(一七) 米四斗三升九合の内、八升八合を費せり、残り何程なるか。

答三斗五升一合

(一八) ぬの二丈四尺七寸と、一丈四尺八寸との差は何程なるか。

答九尺九寸

(一九) 白と黒とのさと一三百七十七匁の内、白さと一は百九十九匁なり、黒さと一は何程なるか。

三〇

答百七十八匁

(二〇) 麥三百七十八俵は五百俵より幾俵少きか。

答百二十二俵

〔諸算〕

(一) 二十八を三倍し、四十をひけば残り幾何なるか。

答四十四

(二) 五錢白銅貨にて一圓あり、白銅貨の数はいくつなるか。

答二十

(三) 右一圓の内にて、二十五錢と三十六錢とを費せば残りいくらかあるか。

答三十九錢

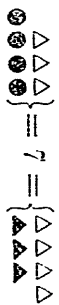
第四章 加法及び減法の檢算法

(一) 加法の檢算法

檢算法は、其の答の正しきか正しからざるかを調ぶるものなり。加法の檢算法は、上下の數をさかさに相加ふべし。其の和、前に得たる和と同じきときは、これ大抵正しき答なり。其の例次の如し。

$$\begin{array}{r} 34 \\ + 47 \\ \hline 81 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 43 \\ + 37 \\ \hline 80 \end{array}$$



初は、3に4を加へて7を得、後には、4に3を加へて7を得たり、かよりに加へて得たる和が、前も後も同じきときは、其の和は、大抵正しき數と知るべし。

この檢算法は必ず、正確なりといふべからず。何となれば、若しも兒童が加算九々を誤り居るときは、此の法によりて得

たる答は前後等しとも、正しき答にあらざればなり、故に減法を教へたる後は、本章第三の方法によりて、檢算法を教ふべし。

(二)減法の檢算法

減法の檢算法は減じて得たる差に、減すべき數を加ふべし、其の和が前に減せられし原數と同じきときは、これ正しき答なり。

其の例つぎのごとし

$$\begin{array}{r} 5 \\ -2 \\ \hline 3 \\ +3 \\ \hline 6 \end{array}$$

5は被減數、2は減數、3は其の減じて得たる差なり、かよりに差3を得たれば、この3に減數の2を加へて試むべし、其

の和が減せらるべき原數の5と同じ數とならば、この差の3は正しき答と知るべし。

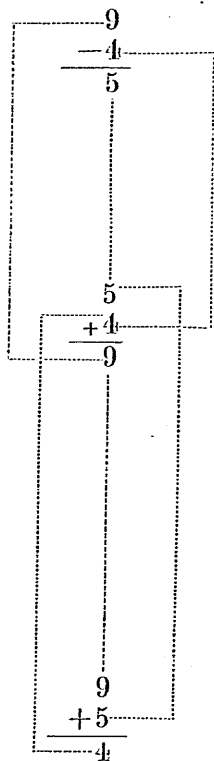
(三) 加法と減法とは、うらはらの計算法なり。つぎのときあかしによりて、これを知るべし。

(一) 四と五とあはすれば、いくつとなるか。

(二) 九より四を引けば、のこり、いくつとなるか。

(三) 九より五を引けば、のこりはいくつとなるか。

次の圖によりて、其のわけを知るべし。



9より4

5に4をく

9より5

をひけば、

はふれば、9

をひけば、

5となる。

となる。

4となる。

〔詰算〕

(一) 六十七より二十八をひき、答四十九と答へたる兒童あり、この答は正しきか。

答正しき答は三十九なり、故に四十九は誤算とす。

(二) 七十二より三十六ひきたるものと、三十八とは、何れがいくつ多きか。

答三十八の方が二多し。

(三) なし二十八を七人にわくれば、二人幾つを得るか。

答四つ

第五章 五百以下の数の加減法應用問題

(一) $138 - 58 + 25 = 105$ (二) $242 + 158 - 10 = 390$

(三) $56 + 74 - 50 = 80$ (四) $353 - 173 + 90 = 300$

(五) $436 + 24 - 220 = 240$

(六) 太郎は、父より三十三錢をもらひ、又母より十七錢をもらひたるが、その内で、四十三錢のしやつを買ひたり、残りはいくらあるか。 答七錢

(七) 三十六圓と五十四圓とを合せ、その内八十圓を引かば、残りは何程となるか。

答十圓

(八) 糸二尺四寸と四尺六寸との内、五尺つかへば、残りは幾何なるか。 答二尺

(九) たまご一箱に五十六と他の一箱に六十五とあり、内五十を人に贈らば、残りは何程あるか。

(一〇) 石油五升あり、一升五合づつ二度出すときは、残り何程なるか。

答七十一

答二升

(一一) $421 - 93 + 72 = 400$

(一二) $317 + 67 - 178 = 206$

(一三) $442 - 349 + 37 = 130$

(一四) $234 - 58 + 24 + 60 = 260$

(一五) $358 + 142 - 63 - 85 = 352$

(一六) 學校にて、午前九時に、けいこを始め、午後三時に終るときは、けいこの時間は何時間なるか。但し、十二時より一時までは休む。

答五時間

〔注意〕 先づ午前午後と云ふこと、正午は零時なること、を教へて後、正

午十二時までの間に、夜半よりけいこの始まるまで経過せし九時間を引き、午前中のけいこ時間となること。これに正午より三時までの三時間を加へ、休みの一時間を引きて、けいこすべき總時間を得ることを教ふべし。

兒童の觀念は時を報ずるときを以て一時間となすの傾あり、故に本題の如きは、時計を示して一時間とは、これよりこれまで針が過ぐる間をいふものなることを、充分に會得せしむべし。

(一七) 午前三時より午後六時までは、幾時間あるか。

答十五時間

(一八) 太郎は、午後の九時に寝て、朝の六時に起くと云ふ、幾時間寝ねしか。

答九時間

(一九) 太郎の弟は本年二歳なるも、去年の八月生れにて、今月は五月なり、眞の歳は幾ヶ月なるか。

答十ヶ月

三八

〔注意〕 一年は十二ヶ月なることを會得せしめ次に本題の如き歳を計る場合に就きては、八月生れの者はその月は歳のかずに加はるもの故、八月生れならば、十二月より七月を引きて、前年の月數を得、之に本年の一月より五月までの月數を加へて、眞の歳を得ることを教ふべし。

(二〇) 去年二月生れたる小兒あり、今七月なるときは、眞の年は幾何なるか。 答十八ヶ月

〔諸算〕 (一) 父の年は三十六にして、母は父より五つ少しといふ、母の年は

いくつなるか。 答三十一

(二) 金魚八十尾を飼ひ置きしが、その内十五尾を友人に贈りたり、残りは幾尾なるか。

答六十五尾

(三) 右の残りを、五つのがらす器に入れたり、一つの器に幾尾づつなるか。 答十三尾

第六章 五百以下の數の乗法及び問題

〔教授の要旨及び方法〕 二位の數に二位の數を乗するには、先づ乘數の中、一位の數と十位の數とを區別し、それぞれ實數に乘じて得たる積を加へて、與へられたる問題の積を作り、漸次此の如くにして練習したる後、普通の運算法を授くべし。例へば 14 に 25 を乗するには、

$$14 \times 25 = 14 \times 5 + 14 \times 20 = 70 + 280 \text{ の如くに分解して其の}$$

關係等を會得せしめ、進みて普通の方法を授くべし。

又名數を直に乘數とすべからざるは勿論なるが、兒童は、乘數の少き方運算し易きを以て、往々名數を乘數となすことあり、名數を乘數となすが如くに見ゆとも、其の實は何倍す

FO
といふ無名數に變化せるものなれば、教授の際深く注意すべし。

此にて左の名稱を教へ、常に之を用ひしめて誤らざらしむべし。

- (一) 乘ぜらるゝ數を、被乘數又は實といふ。
- (二) 乘ずる數を、乘數又は法といふ。
- (三) 乘じて得たる數を積といふ。

例題第一 (乘數單位なるもの)

八十七を四倍すれば、幾何なるか。

算 運 算 式
 $87 \times 4 = 348$
 答三百四十八 分解

$$\begin{array}{r} 87 \times 4 = 348 \\ 80 \times 4 = 320 \\ 7 \times 4 = 28 \\ \hline 348 = 320 + 28 \end{array}$$

大數の乘法と雖も、みな一位數のかけ算の應用に過ぎず故に下の如く始め分解して、そのかけ方の理法に熟せしむるときは、二位數以上の乘法も、容易に運算し得べし、かくて、分解により、理法を會得せしめたる後、普通の方法を教ふべし。

問題

(一) $37 \times 8 = 4256$ (ii) $94 \times 3 = 282$ (iii) $85 \times 5 = 425$

(四) $67 \times 6 = 402$ (五) $78 \times 4 = 312$

(六) 手拭一筋の代は、四錢五厘なり、同し手拭八筋を買ふときは、この代何程なるか。

答三十六錢

(七) 三箱の茶あり、一箱百二十三斤詰なるときは、總斤數何程なるか。
 答三百六十九斤

(八) 一日に米四升五合を要する家族あり、一週間には何程を要するか。 答三斗一升五合

(九) 一筋三丈六尺ある繩六筋をつぎ合すれば、その長さ何程となるか。 答二十一丈六尺

(一〇) 鶏卵一箱七十五個入のもの五箱あり、卵の數合せていくつなるか。 答三百七十五個

〔諸算〕 (一) 一山十三づつの茄子七山あり、茄子の總數幾何なるか。

答九十一

(二) 右の一山の茄子の價一錢五厘ならば、總代金何程なるか。

答十錢五厘

(三) 右の代金を五厘銅貨にて拂ふときは、銅貨の數いくつなるか。

答二十一

例題第二 (乗數二位なるもの)

二十八の十七倍は何程なるか。

式算
 28×17

算運

$$\begin{array}{r} 28 \\ \times 17 \\ \hline 196 \\ + 28 \\ \hline 476 \end{array}$$

答四百七十六

〔分解乗數〕

故に
 $17 = 10 + 7$
 $28 = 20 + 8$
 $\times 7 = \times 7 \times 7$
 $196 = 140 + 56$
い ろ
と
 $28 = 20 + 8$
 $\times 10 = \times 10 \times 10$
 $280 = 200 + 80$
は に
とより
成る

196	い	140
"280	ろ	56
	は	200
	に	80
476	=	476

なり
即ち

$$\begin{array}{r} 28 \times 7 = 196 \\ 28 \times 10 = 280 \\ \hline 476 \end{array}$$

初はかくの如く分解して、漸次省略し、通常の方法に及ぼすべし。

(注意) 兒童は、二位の数の首部の数をかけるにも、單位の數と同じところに書き始むるものなり、これ乗數の首位の値と間違へ居ると、かけ算の數の關係とを知らざるとによる、宜しく注意すべし。

問題

(一) $22 \times 18 = 396$

(二) $45 \times 11 = 495$

(三) $24 \times 15 = 360$

(四) $25 \times 13 = 325$

(五) $36 \times 12 = 432$

(六) 金二錢七厘の十四倍は幾何なるか。

答 三十七錢八厘

(七) 一日に金二十五錢づつ十八日貯ふるときは總金高幾

何となるか。

答 四圓五十錢

(八) 米一日に二升四合づつ十六日間使用する石高は幾何

なるか。

答 三斗八升四合

(九) 糸三尺二寸づつ十五度買ひたり、總長さ何程なるか。

答 四丈八尺

(一〇) さとー三十四匁入のふくろ十二あり、みなでいく匁

となるか。

答 四百八匁

〔諸算〕 (一) 二百枚の紙を、一帖四十枚づつにわくれば幾帖となるか。

答 五帖

(二) 右一帖の代金七錢五厘なるときは總代金何程なるか。

答 三十七錢五厘

(三) 百三十六より七十八を引けば、残り幾何なるか。

答 五十八

例題第三 (乗數三位なるもの)

三の百二十五倍は幾何なるか。

算 運 3×125

$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 125 \\ \hline 375 \end{array}$$
 或は
$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 125 \\ \hline 6 \\ 3 \\ \hline 375 \end{array}$$
 答三百七十五

四六

前の例によりて、積数は乗数の直下より始まるものなること、例へば、乗数5を乗じたる積は、5の直下より、乗数2を乗じたる積は、2の直下より、書き始むるものなること、この2は、其の實は十位故に、通常ならば、一位の所に0を附すべきものなるを、便宜上この0を省きて運算するものなることを、充分に了知せしむべし。

問題

- (一) $2 \times 238 = 476$ (二) $4 \times 113 = 452$
 (三) $3 \times 136 = 408$ (四) $4 \times 118 = 472$
 (五) $3 \times 128 = 384$

(六) 百七十五人の耳のかずは、いくつなるか。

答三百五十

(七) マッチ一個二厘なるときは、二百四十三個の代は何程なるか。

答四十八錢六厘

(八) 三錢の郵便切手百十七枚買ふときは、總代金幾何となるか。

答三圓五十一錢

(九) 馬百十六匹あり、その足数はみなで幾何なるか。

答四百六十四本

(一〇) 金三錢づつの筆を百三十三本買ふときは、總代金幾何なるか。

答三圓九十九錢

〔諸算〕 (一) 茶一斤の代金四十錢のもの七斤買ふときは、この代金何程なるか。

答二圓八十錢

四七

- 四八
- (二) 右の茶一斤に付五錢づつのまうけなりといふまうけの金高
 みなで何程なるか。答三十五錢
- (三) 右の題にて七斤の元價は何程なるか。
 答二圓四十五錢

例題第四

(二數の和若くば差を被乗數となすもの)

紙十八まいと十七まいとあり、この紙數の十二倍は何程なるか。

算 運

$$\begin{array}{r} 18+17 \times 12 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 18 \\ + 175 \\ \times 12 \\ \hline 70 \\ 35 \\ \hline 420 \end{array}$$

答四百二十まい

分解例前に同じ

問題

- (一) $\frac{21+16 \times 13}{45} = 481$ (二) $\frac{21+8 \times 12}{57} = 384$
- (三) $\frac{45-17 \times 14}{57} = 392$ (四) $\frac{57-54 \times 12}{57} = 396$

- (五) $\frac{73-63 \times 25}{73} = 375$
- (六) 一反一圓五十七錢づつの木綿を一圓八十四錢づつにて十七反賣るときは利益金幾何なるか。
 答四圓五十九錢
- (七) 一冊十二錢づつの讀本八冊と、一冊二十一錢づつの讀本十三冊とを買ふときは此の代金幾何なるか。
 答三圓六十九錢
- (八) 人あり一日に一圓七十四錢を得、内六十五錢と五十四錢とを費し、餘を貯ふときは五日間に幾何を貯へ得るか。
 答二圓七十五錢
- (九) 二斗三升入と一斗五升入との米各十三袋あり、石高合せて幾何なるか。
 答四石九斗四升

(一〇) 綿三十二匁と七匁とあり、この和の十一倍は幾何なるか。
答四百二十九匁

〔詰算〕(一) 生糸一圓に二十匁なるときは、百匁の價に何程なるか。

答五圓

(二) 右の代金を五十錢銀貨にて拂ふときは、銀貨の數いくつなるか。
答十個

(三) 右の生糸を十五圓買ふときは、幾匁得るか。
答三百匁

練習問題

(一) $24 - 7 \times 21 = 357$ (二) $3 + 25 \times 8 = 224$

(三) $4 + 18 \times 15 = 330$ (四) $3 + 13 \times 27 = 432$

(五) $30 - 5 \times 18 = 270$

(六) す四升三合の九倍は幾何なるか。

答三斗八升七合

(七) もめん五尺八寸の八倍は幾何なるか。

答四丈六尺四寸

(九) たまご十五個入と、十八個入の箱各十五箱あり、たまごの數何程なるか。

答四百九十五個

(八) 讀本は一冊十二錢、習字本は一冊六錢なり、これを各二十五冊づつ買ふときは、代金幾何なるか。

答四圓五十錢

(一〇) 一冊三十八枚づつの本四冊と、二十三枚づつの本七冊とあり、總紙數幾何なるか。

答三百十三枚

(一) $21 + 18 \times 7 = 273$

(二) $18 \times 4 + 8 = 216$

(三) $21 \times 15 + 8 = 483$

(四) $37 \times 7 \times 5 = 444$

(五) $19 \times 8 \times 9 = 323$

(一六) 一日三十五錢づつを貯ふる職工あり、此の職工二週間は幾何を貯へ得るか。

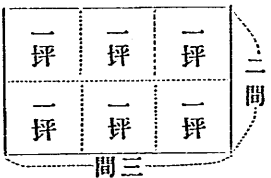
答 四圓九十錢

(一七) 一日布一丈二尺づつを織る工女あり、五週日には幾何を織り得るか。

答 四十二丈

(一八) 縦二十八間横十四間の地あり、坪數幾何なるか。

〔注意〕 縦一間横一間平方の地を一坪といふことを數ふべし、今之を説明すれば左の如し。



例へば縦二間横三間ある地の坪數は幾何なるかなる問題を説明せんには、上圖の如く、縦一間横一間の地が一坪なる故に、縦一間横三間ならば、其の坪數は三坪なり、さらば縦二間にして横三間ならば、三坪の二倍即ち六坪なることを會得せしむるを要す。

答 三百九十二坪

(一九) 間口十五間、奥行二十五間の地あり、坪數幾何なるか。

答 三百七十五坪

(二〇) 間口六間、奥行七間の地あり、一坪の地代四圓づつなるときは、總地代金幾何なるか。

答 百六十八圓

〔諸算〕 (一) 縦十五間横九間の地あり、坪數何程なるか。

答 百三十五坪

(二) 右の地所の内、八十坪を他に貸し、残りの地に、一坪に二本づつの杉苗を植うるときは、杉苗の數幾本なるか。

答百十本

(三) 右の苗一本八厘づつならば、此の代金いくらなるか。

答八十八錢

第七章 五百以下の數の除法及び問題

〔教授の要旨〕 除法は、乘法に於ける數の關係に習熟せば自ら上達するものにして、教授法は乘法の還元なる理法を會得せしむるにあり、その例前篇に準じて知るべし。但し此にて左の名稱を教へて、常に誤りなからしむべし。

- (一) 除せらるゝ數を、被除數又は實といふ。
- (二) 除する數を、除數又は法と云ふ。

(三) 除して得たる數を、商といふ。

例題第一 (除數單位なるもの)

二百三十六を四等分せよ。

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 236 \div 4 \\ \underline{4} \quad 59 \\ 20 \quad 36 \\ \underline{20} \quad 36 \\ 0 \end{array}$$

答五十九

分解例は第二篇に精しく挙げたるを以てこゝには省く。以下同じ。

〔注意〕 商を求むる方法も、第二篇に精しくあげたるを以て之を省く。

問題

(一) $475 \div 5 = 95$

(二) $384 \div 6 = 64$

(三) $434 \div 7 = 62$

(四) $496 \div 8 = 62$

(五) $276 \div 2 = 138$

(六) 一個九厘づつの梨あり、三圓八十九錢を以ていく個を買ひ得べきか。 答四十三個

(七) 四百五十九本の大根あり、三本づつ束ぬるときは、幾把となるか。
答百五十三把

(八) 金一圓七十二錢を以て、一個四錢づつの石鹼いく個を買ひ得るか。
答四十三個

(九) 金四圓五十六錢を四人に等分せば、一人幾何づつを得るか。
答一圓十四錢

(一〇) 米三斗七升八合を、三つの器に等しく入るれば、一つに幾何づつとなるか。
答一斗二升六合

[語算]

(一) 一日に四十五錢の賃金を得る職工あり七日間には幾何を得るか。
答三圓十五錢

(二) 一山二錢五厘づつの胡瓜十山あり代金幾何となるか。
答二十五錢

(三) 右の代金を五錢白銅貨を以て揚ふときは、白銅貨の數幾つなるか。
答五つ

例題第二 (除數單位にして商の末位零となるもの)

四百人を二くみにひとしく分けよ。

算 運 $400 \div 2$
算 $2 \overline{) 400}$
 $\underline{400}$
 0
答二百人

本例に於ては、百位の商2のみにてわりつくし、十位以下に數なき故商2の次に、十位と一位との0を補ひて、其の位取りを明かにすることを教ふべし。

例題第三 (同前)

三百六十を三等分せば幾何なるか。

算 運 $360 \div 3$
算 $3 \overline{) 360}$
 $\underline{360}$
 0
答百二十

本例も、百位と十位とのみにてわりつくし、一位にはわるべき数なき故、商の末位に0を附し、其の位取りを明かにすること前例の如し。

五八

問題

(一) $300 \div 3 = 100$

(二) $300 \div 5 = 100$

(三) $480 \div 4 = 120$

(四) $120 \div 3 = 40$

(五) $360 \div 9 = 40$

(六) 炭六俵の代金四圓二十錢なりといふ、一俵の代金何程なるか。
答七十錢

(七) 麥三石五斗を一俵五斗入の俵につくらは、いく俵となるか。
答七俵

(八) 本八冊の代金二圓四十錢なり、一冊の代金幾何なるか。

答三十錢

(九) 金四圓二十錢を以て、蝙蝠傘三本を買へり、一本幾何づつなるか。
答一圓四十錢

(一〇) 米三十二石を四斗づつの俵になすときは、幾俵となるか。
答八十俵

〔諸算〕 (一) 十六を八倍して、百をひけば残り幾何なるか。

答二十八

(二) 醬油二升五合あり、毎日五合づつ費すときは幾日にして盡るか。
答五日

(三) 右の醬油一合の代金二錢三厘ならば、一日に費す金高幾何なるか。
答十一錢五厘

例題第四 (除數單位にして商の中間に零あるもの)

書物四百十二とつを四つの本箱にひとしく入るときは
幾さつづつになるか。

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 412 \div 4 \\ \hline 103 \\ 4 \overline{) 412} \\ \underline{40} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

式 算 運
答百三とつ

本例は、百位の 4 を除したる後、十位の 1 を四分せんとするに、1 の内には、4 の數を含まざる故、商の十位のところに、商なかりししるしの 0 を補ひ置き、次に一位の 2 を、さきの 1 の次に下し、12 を四分するに、商 3 を得、よりて、3 を商の一位のところ記して、答とすることを教ふべし。

問題

- (一) $208 \div 2 = 104$ (二) $315 \div 3 = 105$
- (三) $424 \div 4 = 106$ (四) $318 \div 3 = 106$

- (五) $406 \div 2 = 203$
- (六) 金四圓十二錢を以て、二錢の郵便切手幾枚を買ひ得るか。 答二百六枚
- (七) 金四圓十六錢を、四人の子供に等しく分れば、一人の得る所何程づつなるか。 答一圓四錢
- (八) 一日に米二升づつを要する家族あり、二石一斗の米にて幾日を支ふべきか。 答百五日
- (九) 金三十錢六厘を以て讀本三冊を買へり、一冊の代金幾何なるか。 答十錢二厘
- (一〇) さとー四百二十四匁を四袋に分つときは、一袋幾匁づつとなるか。 答百六匁

〔諸算〕

- (一) 砂糖八斤の價一圓三十六錢なるときは、二斤の代は何程なるか。 六二
- (二) 右の砂糖を一斤につき三錢づつまうけて賣るときは、總賣上金高幾何なるか。 答一圓六十錢
- (三) 右の金高の内利益總高は何程なるか。 答二十四錢

例題第五

(除數二位にして商の末位零となるもの)
四百八十を二十四にひとしく分けよ。

算 運 $24 \overline{) 480}$ 答二十
式 算 $24 \overline{) 480}$

〔注意〕 第二第三に同じ。

問題

- (一) $360 \div 12 = 30$ (二) $120 \div 12 = 10$

- (三) $450 \div 15 = 30$ (四) $450 \div 15 = 30$

- (五) $240 \div 24 = 10$

- (六) 梨三百八十個あり、一かごに十九個づつ入るときは、幾かごとなるか。 答二十かご
- (七) 薪十四束の代金四圓二十錢なるときは、一束の代金何程なるか。 答三十錢

- (八) 二十三日間に金四圓六十錢を貯へんには、一日に幾何づつ貯ふべきか。 答二十錢
- (九) 米四斗二升を二十一日間に費せり、一日に幾何づつなるか。 答二升

- (一〇) 布四丈八尺を十二きれにきるときは、一きれの長さは幾何なるか。 答四尺

〔譜算〕

(一) 馬一頭を二百五十圓に買ひ、これを二百八十三圓に賣りたりといふ、何程の利益なるか。

六四

答三十三圓

(二) 五錢白銅貨三十個あり、五十錢銀貨と交換せば、五十錢銀貨の数はいくつなるか。 答三個

(三) 金二圓を持てる内にて、八十錢と七十錢の買物をなすときは、いくらの餘りあるか。 答五十錢

例題第六

(除數二位のもの)

三百八十四を、三十二にひとしく分けよ。

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 384 \div 32 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 12 \\ 32 \overline{) 384} \\ \underline{32} \\ 64 \\ \underline{64} \\ 0 \end{array}$$

答十二

問題

(一) $476 \div 28 = 17$

(二) $496 \div 31 = 16$

(三) $1483 \div 23 = 31$

(四) $225 \div 15 = 15$

(五) $324 \div 18 = 18$

(六) 自轉車にて、二百十六町の道を七十二分間に達せりといふ、一分間に幾町づつ走りしか。

答三町

(七) 三圓六十四錢を以て、二十六冊の雑誌を買ひたり、雑誌一冊の代金幾何なるか。

答十四錢

(八) 四石一斗八升の米を十九ふくろに入るときは、一ふくろ幾何づつなるか。

答二斗二升

(九) 二十五人の組合にて商をなし、金四百二十五圓の利を

得たり、一人幾何づつを得るか。

答十七圓

(一〇) ある家にて、しよーゆ四斗三升二合を、三十六日間に
つかへりといふ、一日に幾何づつなるか。

答一升二合

〔詰算〕

(一) 薪一束の價十二錢づつなるときは、十五束の代金は幾何なる
か。

答一圓八十錢

(二) 右の薪を以て、一俵六十錢づつの炭と交換せば、炭幾俵を得る
か。

答三俵

(三) 右の炭一俵を、二十日間に費すとせば、三俵にては幾日を支へ
得るか。

答六十日

例題第七

(除數三位なるもの)

四百七十六を二百三十八分せよ。

算	運	2	
式	算	476	476
		238	476
			0

答二

問題

(一) $328 \div 164 = 2$

(二) $456 \div 152 = 3$

(三) $500 \div 125 = 4$

(四) $278 \div 139 = 2$

(五) $386 \div 193 = 2$

(六) 金四圓三十八錢を、一人に一圓四十六錢づつ與ふると
きは、幾人に與へ得るか。

答三人

(七) 一反の價一圓二十三錢づつの木綿あり、金四圓九十二
錢を以て、幾反を買ひ得るか。

答四反

(八) 四百六十四俵の米を運ぶに、百十六回にて終れりといふ、一回に幾俵づつ運びしか。

答四俵

(九) 桃三百七十五個を、百二十五人の子供に等しく分つときは、一人の取り分幾何なるか。

答三個

(一〇) 金三圓八十四錢を、百二十八日の間に貯へたる兒童あり、平均一日に幾何づつを貯へしか。

答三錢

〔諸算〕 (一) 雞七十五羽あり、其の五分の一は雄なりといふ、雌は幾羽なるか。

答六十羽

(二) 右の雌が各、毎日一個づつの卵を産むとせば、二日間にくつきの卵を産むか。答百二十個

(三) 右の卵一個三錢づつとせば、總代金何程となるか。

答三圓六十錢

練習問題

(一) $250 \div 2 = 125$

(二) $432 \div 24 = 18$

(三) $364 \div 28 = 13$

(四) $407 \div 37 = 11$

(五) $435 \div 13 = 33$

(六) 三百八十四を、十六にひとしく分けよ。

答二十四

(七) 金三百五十圓を、二十五人にひとしく分つときは、一人何程づつなるか。

答十四圓

(八) 米四石五升を、二十七袋にひとしく分つときは、一袋何程づつなるか。

答一斗五升

- (九) 炭四百三十二俵を、十二の運送馬車にて運べり、一だゝに何程をつみしか。 答三十六俵
- (一〇) 木綿四丈一尺六寸を、十六にひとしくきるときは、一片の長さ何程なるか。

答二尺六寸

- (一一) $338 \div 26 = 13$ (一二) $368 \div 184 = 2$
- (一三) $432 \div 144 = 3$ (一四) $378 \div 126 = 3$
- (一五) $426 \div 142 = 3$
- (一六) 松材三百七十七本を、十三の筏にくむときは、一つ何本づつなるか。

答二十九本

- (一七) 竹四百八十六本を、同じよりに十八把とするには、

把幾本づつなるか。

答二十七本

- (一八) 紙四百六十五枚を、三十一冊の手帳とせり、一冊幾枚づつなるか。 答十五枚

- (一九) 書物四百七枚を、三十七日によみたり、一日幾枚なるか。 答十一枚

- (二〇) 筆四百二十九本を、三十九にひとしく分けよ。 答十一本

〔諸算〕 (一) 百五十六を十三分すれば幾何なるか。 答十二

(二) 百四十五に幾つたせば百五十となるか。 答五

(三) 右の差を六倍し、二十七を加ふれば幾つとなるか。 七

第八章 乗法及び除法の檢算法

答五十七

七三

(一) 乗法の檢算法

(イ) 乗法の檢算法は、かけらるゝ數と、かくる數とを、さかさまに相乗すべし。其の積が、前に得たる積と同じきときは、大抵正しき答なり。其の例左の如し。

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 5 \\ \hline 20 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 4 \\ \hline 20 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} \circ & \circ & \circ & \circ \\ \circ & \circ & \circ & \circ \\ \circ & \circ & \circ & \circ \\ \circ & \circ & \circ & \circ \\ \circ & \circ & \circ & \circ \end{array} \begin{array}{l} 4 \\ \times 5 \\ \hline 20 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \times 5 \times 5 \times 5 = 20 \\ 5 \times 4 = 20 \end{array}$$

はじめに、 4×5 を乗じて、 20 を得、後れ又 5 に 4 を乗じて 20 を得るときは、此の積は正しき數なり。即ち前にあげたる圖解によりて知るべし。

〔注意〕 この檢算法は、必ず正確なりといふべからず、何となれば、若しも兒童が乗算九々を誤り居らんには、得たる答は前後等しとも、正しき答にあらざればなり、故に除法を教へたる後は、本章第三の方法によりて檢算法を教ふべし。

(ロ) おなじ數をいくつか相加ふるとき、加法を用ひずして其の答を得べき法あり、これすなはち乗法なり。故に乗法は、おなじき數をいくつか加ふるとき、てがるき法ともいふべし。

其の例つきのごとし。

(二) 五を三つくはふれば、いくつとなるか。(加法問題)

七三

- (三) 三を五つくはふればいくつとなるか。(加法問題)
 - (三) 五の三ばいは幾何なるか。(乘法問題)
 - (四) 三の五ばいは幾何なるか。(乘法問題)
- つぎの運算によりて、加法と乘法とは、いかなるつゞきあひのものなるかを知るべし。

$$\begin{array}{r} 55 \\ +5 \\ \hline 15 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3333 \\ +3 \\ \hline 15 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \times 3 \\ \hline 15 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3 \\ \times 5 \\ \hline 15 \end{array}$$

(二) 除法の檢算法

- (イ) 除法の檢算法は、はじめに得たる商に、わりたる數を乗すべし、かよゝにして得たる積が、わられたる數に同じきときは、其の商は、これ正しき答なりと知るべし。但し、もし商に殘數あるときは、其の積に其の殘數を加ふべし、か

よゝにして得たる數が、わられたる數に同じきときは、これ正しき答なり。
其の例つぎの如し。

(三)

$$\begin{array}{r} 3 \\ 2 \overline{) 76} \\ \underline{6} \\ 1 \text{ 殘り} \\ 2 \\ \times 3 \\ \hline 6 \\ +1 \\ \hline 7 \end{array}$$

(ハ)

$$\begin{array}{r} 3 \\ 2 \overline{) 66} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ \times 3 \\ \hline 6 \end{array}$$

- (ハ) の例にて得たる商の、正しきか、正しからざるかを知らんとするには、わりたる數2に商3を乗すべし、其の積が、わられたる數6と同じければ、此の商は正しき答なりと知るべし。

(ろ) の例によれば、 7 はわられたる数、 2 はわりたる数、 3 は商のこりは 1 なり、かくの如く、商 3 にては尙ほ残数 1 を有つ時は、この 3 と 2 と相乗することは、(い)の例の如くして、つぎに此の積に残数 1 を加ふべし、その和が、わられたる数 7 と同じければ、商 3 と残り 1 は正しき答なりと知るべし。

(ロ) 除法は、おなじ数をいくたびも引くかはりに、用ふる法なり。

(二) 十二より、四をいくたびひけば、のこりなきか。(減法問題)

(三) 十二を、おなじよ 1 に四つに分けよ。(除法問題)

減法

$$\begin{array}{r} 12 \\ -4 \dots 1 \\ \hline 8 \\ -4 \dots 1 \\ \hline 4 \\ -4 \dots 1 \\ \hline 0 \end{array}$$

除法

$$\begin{array}{r} 3 \\ 4 \overline{) 12} \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

(三) 除法と乗法とは、うらはらの計算法なり。

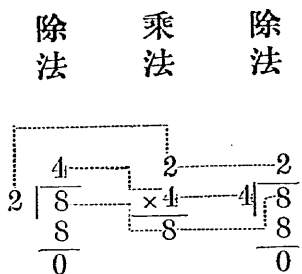
(一) 四の二ばいはい、何程なるか。(乗法問題)

(二) 二の四ばいはい、何程なるか。(乗法問題)

(三) 八は四のいくばいか。(除法問題)

(四) 八は二のいくばいか。(除法問題)

次の圖によりて其のわけをしるべし。



(詰算) (一) 十三を六倍して、答八十八と答へたる兒童あり、この答は正し

- きか。答正しき答は七十八なり故に八十八は誤算とす。
- (二) 九十四を二分したるものと四十四とは孰れが多きか。
- 答前の方が三多し
- (三) 一と二と三と四と五と六と七と八と九とをよすればいくつ
となるか。 答四十五

第九章 五百以下の数の乗除法應用問題

- (一) $78 \times 5 \div 39 = 10$ (二) $16 \times 16 \div 4 = 64$
- (三) $72 \div 12 \times 66 = 396$ (四) $360 \div 45 \times 27 = 216$
- (五) $480 \div 16 \times 4 = 120$
- (六) さと一三斤の價五十四錢のもの、五斤を買ふときは此
の代金幾何なるか。
- [注意] 斤の名稱關係を教ふべし。

答九十錢

- (七) 一俵三斗五升入の米十二俵あり、之を四斗二升入に造
り直すときは、幾俵となるか。

答十俵

- (八) 一冊二十四まいづつの本四冊あり、之を二日間に讀み
終るには、一日に幾枚づつ讀むべきか。

答四十八枚

- (九) 茶二斤の目方三百二十匁なるときは、三斤の目方は何
程なるか。

答四百八十匁

- (一〇) 三時間に六十哩を走る汽車は、一晝夜に幾哩を走る
か。

[注意] 一晝夜の時間數を教ふべし。

八〇

答四百八十哩

(一) $250 \times 2 \div 50 = 10$ (ii) $23 \times 21 \div 7 = 69$

(ii) $475 \div 5 \times 3 = 285$ (iv) $96 \div 48 \times 125 = 250$

(v) $368 \div 46 \times 27 = 216$

(一六) 茶を植うるに三步に九株づつなるときは、四十五歩の地には、幾株を植うるか。

答百三十五株

[注意] 一步は一坪と等しきことを教ふべし。

(一七) 八十歩の地あり、四歩に三株づつの割にて、櫻を植うるときは、櫻の數何程を要するか。

答六十株

(一八) 一斤八錢のさと一五十六斤を以て、一升十四錢の石油幾升と換へ得るか。

答三斗二升

(一九) 長さ五間横二十間の地あり、坪數幾何なるか。

答百坪

(二〇) 右地代一坪三圓づつならば、總代金幾何なるか。

答三百圓

第十章 千以下の數の加法問題

[教授の要旨] 教授例は本篇第二章に準ず。

(一) $248 + 345 + 68 = 661$ (ii) $327 + 175 + 135 = 637$

(iii) $423 + 219 + 127 = 769$ (iv) $160 + 208 + 175 = 543$

(五) $637 + 23 + 84 = 744$

(六) 本箱に和本三百五十七冊と、洋本二百四十五冊とあり、合せて幾冊なるか。 答六百二冊

(七) 米二百七十六俵と、六百二十四俵との和は何程なるか。 答九百俵

(八) 或山林に、松四百五十六本と、杉二百七十八本と、檜百二十五本とあり、木の數合計何程なるか。 答八百五十九本

(九) 絹五丈五寸と、一丈二尺と、七尺と、八尺五寸との和は何程なるか。 答七丈八尺

(一〇) さと一三百十九匁と、百五十匁と、四百匁と、三十二匁とあり、合計何程なるか。 答九百一匁

答九百一匁

(一一) $723 + 64 + 123 = 910$ (一一) $975 + 253 + 124 = 752$

(一二) $408 + 325 + 102 = 835$ (一二) $345 + 174 + 50 + 63 = 632$

(一三) $366 + 123 + 240 + 17 = 746$

(一四) 茶二百六十五匁と、二百三十七匁と、四十五匁との和は何程なるか。 答五百四十七匁

(一五) 金三十錢五厘と、十七錢八厘と、八錢五厘との合計は何程なるか。 答五十六錢八厘

(一六) 牧場に、牛三百五十六匹、馬二百四十八匹、羊三百匹あり、合計何匹なるか。 答九百四匹

(一七) 或る學校の生徒を數ふるに、尋常科男生二百八十五人、女生二百四十五人、高等科男生二百七十人、女生百八十

六人あり、合計何人なるか。

答九百八十六人

(二〇) 麥三石六斗五升と、二石七斗八升と、一石五斗四升とあり、合計何程なるか。

答七石九斗七升

〔諸算〕 (一) 三十八と四十二と十六とを加ふれば幾何なるか。

答九十六

(二) 右の和より、二十三と十八とをひけば幾何となるか。

答五十五

(三) 十八の十一倍はいくつなるか。

答百九十八

第十一章 千以下の數の減法問題

〔教授の要旨〕 教授例は、本篇第三章に準ず。

(一) $563 - 364 = 199$ (二) $892 - 217 = 675$

(三) $984 - 725 = 259$ (四) $747 - 59 = 688$

(五) $628 - 309 = 319$

(六) 麥八斗と、三斗二升七合との差は何程なるか。

答四斗七升三合

(七) 鹽八百五十七俵の内、六百三十八俵を賣り拂へりといふ、残りは何程なるか。

答二百十九俵

(八) 銀行へ七百圓を預け置きしが、内四百三十六圓を引き

出せり、尚ほ残りは何程なるか。

答二百六十四圓

(九) 布八丈五尺六寸の内、二丈八尺五寸を切りとらば、残りは何程なるか。

答五丈七尺一寸

(一〇) 金八十三錢五厘と、六十五錢七厘との差は、何程なるか。

答十七錢八厘

(一一) $732 - \overline{218} + 46 = 468$ (一二) $578 - 89 + \overline{125} = 364$

(一三) $427 - 345 + 275 = 357$ (一四) $794 - \overline{185} + \overline{426} = 183$

(一五) $976 - 576 + 253 = 353$

(一六) 米十石の内より、四斗二升と、二石三斗八升との和を減ずれば、幾何なるか。

答七石二斗

(一七) 一千より、二百八十五と、三十七と、四百五十との和を減ずれば、残り幾何なるか。

答二百二十八

(一八) 白と黒とのさと一、合せて五百六十五匁あり、内白さと一は二百匁なりといふ、黒さと一は何程なるか。

答三百六十五匁

(一九) たこ糸百丈あり、内十七丈五尺と、二十三丈四尺とを賣らば、残り何程あるか。

答五十九丈一尺

(二〇) 金十圓を以て、市に行き、一圓五十六錢と、三圓四十三錢との買物をなせり、尚ほ何程を残せるか。

答五圓一錢

〔諸算〕

- (一) ランプ一個の代三十七錢なるときは、四個の代幾何なるか。
 答一圓四十八錢
- (二) 右の代を拂ふに、五十錢銀貨三つを出さば何程のつりなるか。
 答二錢
- (三) 五十六疋の龜の足は幾本なるか。
 答二百二十四本

八八

第十二章 千以下の數の加減法應用問題

- (一) $238 + 456 + 63 - 163 + 250 = 339$ (II) $875 - 243 - 178 + 65 = 519$
- (III) $364 - 182 + 76 + 547 = 805$ (四) $694 - 247 + 576 - 324 = 699$
- (五) $853 - 764 + 70 - 25 = 134$
- (六) 上茶四百八十五匁と、中茶四百三十二匁との内、六百五十七匁は箱につめたり、残りは幾匁あるか。

答二百六十匁

- (七) 木綿四丈五尺六寸と、三丈四尺五寸との内、二丈八尺四寸と、一丈六尺三寸とを賣り拂ふときは、残り何程あるか。
 答三丈五尺四寸
- (八) 東の村より西の村までは、道のり七十八町ありて、東の村より北の村までは、これより三町近しといふ、西の村より北の村までの町數は幾何なるか。
 答百五十三町
- (九) 大筆二百四十五本あり、小筆は大筆より五十五本多しといふ、合せて幾本なるか。
 答五百四十五本

- (一〇) 金五十五錢四厘と二十八錢七厘との内、四十二錢六

厘を引けば、残り何程なるか。

九〇

答四十一錢五厘

(一) $246 + 354 - 300 - 80 = 220$ (二) $\frac{285 + 715 - 486 + 14}{500} = 500$

(三) $851 - 673 + 24 = 202$ (四) $377 + 423 + 16 - 380 = 236$

(五) $1000 - 123 - 234 = 643$

(一六) 或る人、梨二百五十七個と、三百七十六個とを買ひ入れしに、九十八個はくされたるものなりしといふ、よき梨の数は幾何なるか。

答五百三十五個

(一七) 或る人、商をなして、初に二圓五十八錢をまうけ、次に三圓六十四錢をまうけ、三度目に一圓五十錢をそんし、次に又二圓まうけたりといふ、差引き何程のまうけなりし

か。

答六圓七十二錢

(一八) 人あり、八百四十四町の道を行くに、初の日には二百六十七町、次の日に二百八十六町行き、三日目に餘を行きしといふ、三日目に行きし町數幾何なるか。

答二百九十一町

(一九) 金一圓の内より、十五錢六厘と二十六錢七厘とを引くときは、残り何程なるか。

答五十七錢七厘

(二〇) 油一斗二升五合と、三斗七升五合とを買ひ入れ、内二斗五升を賣るときは、残り何程なるか。

答二斗五升

〔語算〕 (一) 金二圓五十錢を持ちて買物に行き、一圓八十錢の靴と、四十五

銭のしゃつとを買へり、尙ほ何程を剩せるか。

九二

答二十五銭

(二) 右の残り金を以て、筆五本を買ふときは、一本の代價何程なるか。

答五銭

(三) 二百を八分すれば幾何なるか。

答二十五

第十三章 千以下の数の乗法

〔教授の要旨〕 教授例は本篇第六章に準ず。

問題

(一) $22 \times 45 = 990$

(二) $49 \times 11 = 539$

(三) $64 \times 15 = 960$

(四) $37 \times 27 = 999$

(五) $35 \times 18 = 630$

(六) 三銭五厘の十五倍は幾何なるか。

答五十二銭五厘

(七) 四斗八升入の米十六俵あり、此の石高何程なるか。

答七石六斗八升

(八) しょーゆ八升六合入のもの十一樽あり、此の石高何程なるか。

答九斗四升六合

(九) たこ糸七丈五尺づつ十二度買ふときは、糸の總長と何程なるか。

答九十丈

(一〇) 一冊三十六銭づつの本二十三冊買ふときは、この代何程なるか。

答八圓二十八銭

(一一) $63 \times 14 = 882$

(一二) $76 \times 12 = 912$

(一三) $43 \times 22 = 946$

(一四) $81 \times 11 = 891$

(一五) $63 \times 15 = 945$

九三

(一六) 一ふくろに六十四匁づつ入れたさと一十五ふくろあり、總計幾匁なるか。 答九百六十匁

(一七) 一日に二十五錢づつ貯ふるときは、二十五日間に幾何を貯へ得るか。 答六圓二十五錢

(一八) 筆一本の價四錢五厘のもの二十本を買ふときは、此の價幾何なるか。 答九十錢

(一九) 米四斗二升入のもの一俵あり、一升十三錢なるときは、此の代幾何なるか。

答五圓四十六錢

(二〇) 汽車一時間に二十一哩を走り、二十五時にして著せりといふ、此の距離幾何なるか。

〔注意〕 哩のことを教ふべし。

答五百二十五哩

〔諸算〕 (一) 自轉車にて、一哩の道を走るに、三分間を要すとせば、二十四分間には幾哩を走るか。

答八哩

(二) 朝六時に仕事をはじめ、夕方の六時に業を卒へ、賃金七十二錢を得るときは、一時間何程に當るか。

答六錢

(三) 二十四の九倍は幾何なるか。

答二百十六

第十四章 千以下の數の除法

〔教授の要旨〕 教授法は第七章に準ず。

但し、本章の終りに於て、除し盡されざるものゝ例を教ふべし。

問題

九六

(一) $768 \div 32 = 24$

(二) $999 \div 37 = 27$

(三) $936 \div 26 = 36$

(四) $968 \div 484 = 2$

(五) $516 \div 172 = 3$

(六) 七百四を十六分すれば、幾何なるか。

答四十四

(七) 金八百七十五圓を、二十五人に等しく分つときは、一人分何程なるか。

答三十五圓

(八) 牛若干頭の足數五百七十六本あり、牛の數は幾何なるか。

答百四十四頭

(九) さと一六百七十二匁を、十二袋に入るゝときは、一袋幾匁づつなるか。

答五十六匁

(一〇) 七百五十四坪の地あり、間口は十三間なりといふ、奥行の間數幾何なるか。

答五十八間

(一一) $819 \div 13 = 63$

(一二) $576 \div 48 = 12$

(一三) $975 \div 39 = 25$

(一四) $936 \div 52 = 18$

(一五) $608 \div 32 = 19$

(一六) 七十三錢六厘を三十二等分すれば、幾何なるか。

答二錢三厘

(一七) 九百三十六坪の地あり、奥行は三十六間なりといふ、間口の間數は幾何なるか。

答二十六間

(一八) 米八斗五升一合を、三十七日間に使用せし家族あり、

一日に何程つつなるか。

答二升三合

(一九) 金八圓を以て、三十二冊の本を買へり、平均一冊の代何程なるか。 答二十五錢

(二〇) 木綿八丈七尺五寸を以て、手拭幾筋を切り得るか。 答三十五筋

〔注意〕 手拭の長さを教ふべし。

(二一) 六百九十六を、二百三十に等しく分けよ。

$$\begin{array}{r} \text{算 運} \\ 696 \div 230 \\ \hline 3 \\ 696 \\ \underline{690} \\ 6 \end{array}$$

式算 算 運 算

答三と残り六

(二二) 雞卵六百八十四を、三百二十六に等しく分けよ。

答二と残り三十二

(二三) 絹九丈七尺六寸を三十八に等しく分けよ。

答二尺五寸と残り二尺六寸

(二四) 金八圓七十五錢を、四十六分すれば幾何なるか。

答十九錢と残り一錢

(二五) 油三石七斗八升を、十五樽に入るときは、一樽幾何つつなるか。 答二斗五升と残り三升

〔詰算〕 (一) 五十の梨を、七つつ七人に與ふるときは、幾つ残るか。 答一つ

(二) 若し右の梨を三つつ十五人に與ふれば幾つ残るか。 答五つ

(三) 銀貨三十錢と、銅貨十六錢とあり、これに何程をたせば、五十六錢となるか。 答十錢

第十五章 算式上の練習及び乗除法應用問題

例題第一

柿三つの二倍は何程なるか。

式 $3 \times 2 = 6$ 此の6は柿の數である。
..... 此の2は人の數である。
..... 此の3は柿の數である。

答六つ

例題第二

柿三つづつ二人の子供に與ふるには、何程の數がいるか。

式 $3 \times 2 = 6$ 此の6は柿の數である。
..... 此の2は人の數でなし、倍數である。 答六つ
..... 此の3は柿の數である。

例題第三

たひ三尾づつ入れたるかで四つあり、すべてのたひの數を問ふ。

式 $4 \times 3 = 12$ 此の12はたひの數である。
..... 此の4はかでの數でなし、倍數である。 答十二尾
..... 此の3はたひの數である。

例題第四

八枚の紙にて、しよーじ一枚を張るとせば、しよーじ六枚を張るには、紙何枚を要するか。

式 $8 \times 6 = 48$ 此の48は、何の數であるか。
..... 此の6は、何の數であるか。 答四十八枚
..... 此の8は、何の數であるか。

例題第五

筆八本は、筆二本の何倍なるか。

式 $8 \div 2 = 4$ 此の 8 は筆の数である。
 式 $2 \div 1 = 2$ 此の 2 は筆の數である。
 式 $1 \div 1 = 1$ 此の 1 は筆の數である。

答 四倍

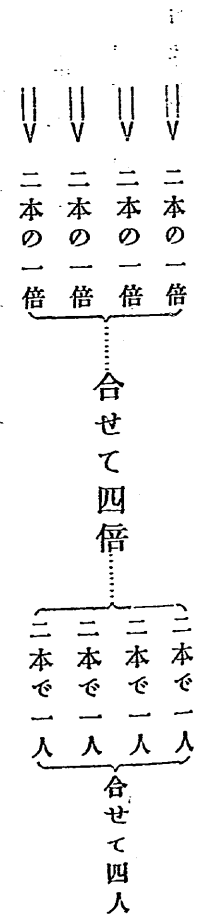
例題第六

筆八本あり、一人に二本づつ與ふれば、幾人に與へ得べきか。

式 $8 \div 2 = 4$ 此の 4 は人の數でなし、倍數である。
 式 $2 \div 1 = 2$ 此の 2 は筆の數である。
 式 $8 \div 1 = 8$ 此の 8 は筆の數である。

答 四人

式に就きての答は四倍にして、問題に向ひては、四人と答へ得る理は、次の圖のときあかしを見て知るべし。



例題第七

筆八本を、太郎と次郎との二人にひとしく分くれば、一人何本づつとなるか。

式 $8 \div 2 = 4$ 此の 4 は筆の數である。
 式 $2 \div 1 = 2$ 此の 2 は人の數でなし、ひとしく分くる數である。
 式 $8 \div 1 = 8$ 此の 8 は筆の數である。

答 四本づつ

例題第八

一日に文字八字づつ習ふときは、四十八字は何日にて習

ひうるか。

式 $6 \div 8 = 6$ 此の6は何の数であるか。
 式 $8 \div 8 = 8$ 此の8は何の数であるか。
 式 $48 \div 8 = 6$ 此の48は何の数であるか。

答六日

例題第九

十二人の生徒を三くみに分たば、一くみ何人づつとなるか。

式 $12 \div 3 = 4$ 此の4は何の数であるか。
 此の3は何の数であるか。
 此の12は何の数であるか。

答四人づつ

練習問題

次の各題につき、答を求めしめ、而して兒童自ら其の解説をなさしむべし。

(一) 一尾二錢五厘の鰯六尾を買ひたり、この代何程ぞ。

答十五錢

(二) 一合一錢三厘の石油一升四合の代金は、何程なるか。

答十八錢二厘

(三) 一つ八厘の梨子若干個を買ひ、二十五錢六厘を拂へり、幾個を買ひしか。 答二十三個

(四) 二圓五錢の拂金を、五錢白銅貨にて渡さんとするには、幾つ渡してよきか。 答四十一個

(五) 一足二圓六十錢のくつ三足の代金は、何程となるか。
 答七圓八十錢

(六) 二十錢銀貨にて三圓二十錢を持って、其の銀貨の数は幾つなるか。 答十六個

(七) 一俵三斗五升入の米四俵あり、此の石高何程なるか。

答一石四斗

(八) 麥六石八斗を、一俵四斗入の俵とすれば、幾俵となるか。

答十七俵

(九) 長さ百二十間の運動場を往復すれば、何程の間數となるか。

答二百四十間

(一〇) 長さ六十間を一町といふ。然らば此の運動場の長さは幾町あるか。

答二町

(一一) 一人一日の費用を三十五錢とすれば、一ヶ月三十日とすの費用は何程となるか。

答十圓五十錢

(一二) 一里十二錢の賃にて人力車に乗り、一圓八十錢を拂

ひたり、幾里を乗りしか。

答十五里

(一三) 或る農家にて、畑一步につき、かぼちや六つを取りたり、此の畑地百三十二歩あり、幾つを取りしか。

答七百九十二個

(一四) 牛蒡三百二十二本を掘り、七本を一把づつに束ね、青物市に送りたり、其の把の數何程ぞ。

答四十六把

(一五) 間口二十八間、奥行三十五間の地面あり、此の坪數何程なるか。

答九百八十坪

(一六) 或る地までの距離七百二十間にして、丁度十二町に當る。然らば一町は幾間なるか。

答六十間

一〇八

(一七) ビール一本の代二十八錢のとき、一ダースの代金は
何程に當るか。 答三圓三十六錢

(一八) 蜜柑五百六十個を籠に入るゝに、一籠十四個入りと
するとき、幾籠を作り得るか。 答四十籠

(一九) 一尺の代二十三錢づつの絹四丈二尺を買ふときは、
此の代金何程なるか。 答九圓六十六錢

(二〇) 美濃紙一帖は四十八枚なり、十七帖にては幾枚ある
か。 答八百十四枚

〔詰算〕 (一) 帽子を買はんとするに、銀貨四十錢と銅貨八錢とを持てども、
尙ほ七錢不足なりといふ、この帽子の代幾何
答五十五錢

(二) 右の帽子より十八錢高きものを買ひ、一圓札にて拂へば、何程
のつりあるか。 答二十七錢

(三) 右のつり錢を五錢白銅貨にて受取らば、白銅貨の數幾つなる
か。 答五個と二錢

第十六章 千以下の數の加減乗除法應用問題

(一) 木綿二尺八寸と、六尺六寸と、七尺四寸との和を問ふ。

答一丈六尺八寸

(二) 金巾一丈五尺三寸と、三尺六寸との和より、二尺八寸を
減ずれば何程なるか。 答一丈六尺一寸

(三) 絹九尺二寸より、六尺八寸を減じ、残りを三倍せば幾何
なるか。 答七尺二寸

(四) 麻布九尺三寸より、六尺五寸を減じ、残りを十二倍すれば幾何なるか。 答三丈三尺六寸

(五) 布五尺三寸を三倍せよ。 答一丈五尺九寸

(六) 布八尺五寸を十二倍せよ。 答十丈二尺

(七) 糸六尺五寸を五にひとしく分けよ。 答一尺三寸

(八) 糸一丈六尺一寸を七にひとしく分けよ。 答二尺三寸

(九) 米二升三合と八升九合とを合せ、四升三合を引けば、残りは何程なるか。 答六升九合

(一〇) 油二升三合を七倍せよ。

答一斗六升一合

(一一) す二斗三升六合を四倍せば何程となるか。

答九斗四升四合

(一二) 麥三斗六升七合と、五斗八升二合との合計を問ふ。

答九斗四升九合

(一三) 小豆七斗三升と、二斗六升三合との差を問ふ。

答四斗六升七合

(一四) 大豆八斗三升七合と、二斗五升七合との差の三倍は幾何なるか。 答五斗八升

(一五) 米五石四斗五升を五つにひとしく分けよ。

答一石九升

(一六) 麥六斗三升九合を九つにひとしく分けよ。

一一三

答七升一合

(一七) 九百六十七匁より四百二十八匁を減ずれば幾何なるか。

答五百三十九匁

(一八) 牛肉五十八匁の十七倍は何程なるか。

答九百八十六匁

(一九) さと一三百六十匁を八にひとしく分ければ何程となるか。

答四十五匁

(二〇) みを五百四十六匁をひとしく十三に分ければ何程となるか。

答四十二匁

(二一) 金四十六錢七厘と二十九錢三厘との合計を問ふ。

答七十六錢

(二二) 金八十錢より、五十六錢九厘を減ぜよ。

答二十三錢一厘

(二三) 金十八錢二厘を五倍せば、何程となるか。

答九十一錢

(二四) 金七錢五厘を十三倍せば、何程となるか。

答九十七錢五厘

(二五) 金九十八錢四厘を、ひとしく八つに分ければ何程となるか。

答十二錢三厘

(二六) 大小の墨二ちよ一あり、大の墨の代は八錢五厘、小の墨の代は四錢二厘なり、小の代は大より何程やすきか。

答四錢三厘

(二七) 金百五十圓を、三ヶ所の小學校に等しくきふせんと

一一三

す、一校に何圓づつをきふすべきか。

答五十圓づつ

(二八) 一ちよ一五錢二厘にて買ひし墨を、一錢八厘づつまうけて、三ちよ一賣りしといふ、此の賣りし價を問ふ。

答二十一錢

(二九) 一時間に三里走る馬は、一晝夜に何里走るか。

答七十二里

(三〇) 炭五俵を一圓二十八錢に賣れり、一俵の價何程なるか。

答二十五錢六厘

(三一) さと一四斤を六十九錢に賣り、十三錢の益ありきといふ、一斤の元價幾何なるか。

答十四錢

(三二) 東の村より西の村までは、十四町にして、東の村より北の村までは、これより三町遠しといふ、東の村より北の村までの町數を問ふ。

答十七町

(三三) 金二圓五十二錢を以て、一斤の代金七錢のさと一何斤を買ひ得べきか。

答三十六斤

(三四) 毎日三十二枚づつ讀みて、一週間に讀みつくしたる本あり、其の枚數は何程なるか。

答二百二十四枚

(三五) 反物一反の長さは、つーれい二丈八尺なり、三匹の長さ問ふ。(二反を一匹とす)

答十六丈八尺

(三六) 職人あり、十五日はたらきて、ちん金七圓五十錢を得たり、一日のちん金は何程なるか。

答五十錢

(三七) 或る人、五ヶ年の間、毎年同一の金を郵便局にあづけたるに、其の金合計四百五十圓となりしと云ふ、平均一ヶ月に何圓づつあづけしものなるか。

答七圓五十錢

(三八) 或る子供、たこの糸を買へり、初め買ひし長さは七十五丈にて、後に買ひし長さは、初より八丈長しといふ、此の子供の今持てる糸の長さは、すべて何程なるか。

答百五十八丈

(三九) 梨を入れたるかご二十三あり、一かごに梨二十八づ

つありとせば、梨のすべての数は何程なるか。

答六百四十四

(四〇) 或る人、梨と柿とを買へり、其の數、梨は五十六にして、柿は梨の八倍なりしといふ、柿のすべての數を問ふ。

答四百四十八

(四一) くみ合商人あり、一の商賣を爲して、百五十圓の利を得、之を分けたるに、一人前二十五圓なりしといふ、くみ合の人數を問ふ。

答六人

(四二) 或る人、十五圓の金を以て、毎日一圓五十錢づつ買物をなさんとす、何日の間買ひ得べきか。

答十日

(四三) 或る人、金五十圓を以て旅をなし、毎日二圓づつのは

らひをなして歸りしに殘金六圓ありしといふ、旅の日數を問ふ。

答二十二日

(四四) 大工あり、毎日七十五錢のちん金を得て、其の内五十八錢づゝを費し、餘を貯ふときは、一週間に何錢を貯へ得るか。

答一圓十九錢

(四五) 右の大工毎日殘金をためて、三十日に至らば、其の金高何程となるか。

答五圓十錢

(四六) 麥十八石三斗あり、之を三斗入の俵に入れなば、何俵となるべきか。

答六十一俵

(四七) しょーゆ五十六たるを或る所に送りしに、送りちん金一圓十二錢をはらひたりといふ、一たるの送りちんは何程なるか。

答二錢づつ

(四八) 或る人一ケ年中の費用を計算せしに、百九十二圓なりきといふ、平均一ヶ月の費用は何程なるか。

答十六圓

(四九) 或る兒童、一日中の習字數を計へしに、大字は十二字、小字は大字より七字多く、中字は小字より五字多かりきと云ふ、總計幾字となるか。

答五十五字

(五〇) 半紙六十七枚あり、之を六帖となさんには、何枚を加ふべきか。

但し一帖は二十枚とす。

答五十三枚

(五一) 一枚二十二行一行二十四字づめの本一枚の内には、

字數何程あるか。 答五百二十八字

(五二) 生徒二百六十六人あり、七人づつのくみを作らば、何くみとなるか。 答三十八くみ

(五三) 或る人貸家を五ヶ月間貸して、四十五圓の家ちんを得たり、一ヶ月の家ちんは何程なるか。

答九圓

(五四) 或る人金何程かを持ち、其の内にて、二十五錢の買物を爲したるを以て、殘金一圓五十二錢となれりと云ふ、此の人の初め持ちし金高を問ふ。

答一圓七十七錢

(五五) 或る子供、金何程かを持ちしに、父より五十五錢をもらひ、合計金一圓八十錢となれりといふ、初に持ちし金高

を問ふ。

答一圓二十五錢

(五六) 金六圓二十四錢を持ちて、一羽二十六錢の雞を買はば、何羽を買ひ得べきか。

答二十四羽

(五七) 桃三百六十六個あり、之を三かごに入れんには、平均一かごに何個づつ入れてよきか。

答百二十二個

(五八) 甲乙の書物あり、甲の枚數は三十五枚にして、乙は甲の枚數の三倍よりは、十七枚少しといふ、この枚數幾何なるか。

答八十八枚

(五九) 一升十一錢五厘の石油三升を買ひ、一圓札にて拂はば、つり錢何程を受取るべきか。

答六十五錢五厘

(六〇) 或る人、一升十二錢三厘の米五升を以て、一升八錢二厘の麥八升とかへたりといふ、損得何程なるか。

答四錢一厘の得

(六一) 金八十八錢五厘を以て六錢二厘の筆十二本と、小刀三ちよーとを買ひしに、殘金なかりきといふ、小刀一ちよーの代を問ふ。

答四錢七厘

(六二) $33 + 36 - 4 \times 4 = 29$

(六三) $325 \div 13 + 308 \div 45 = 17$

(六四) 二十錢と五十錢の銀貨あり、其の枚數同じくして、總金高は五圓六十錢なり、各幾枚か。

答各八枚

(六五) 一本三錢と二錢五厘のえんびつを、各同じ數づつ買ひ、三十八錢五厘を拂へり、各幾本か。

答七本

(六六) 百四十四間はなれたる地の兩方より、二童が相向ひて同時にはしり、甲は一分に七間、乙は五間の速さなれば、幾分にて出合ふか。

答十二分

(六七) $20 \times 4 + 5 \times 70 \div 43 = 10$

(六八) $57 \times 13 - 36 \times 16 \div 59 = 3$

(六九) 或る小學校にて、男生は四十五人づつ九列と、女生は二十五人づつ十二列に並び、此の學校の生徒の數は幾人なるか。

答七百五人

(七〇) 一つ十二錢のしゃぼん七十五個を以て、一つ十三錢

のしやぼん六十五箇と替へんとす何程の差あるか

答十二錢の方が五十五錢多し

(七一) $303 + 417 \div 3 = 196$

(七二) $897 \div 39 = 980 \div 17 \div 3 = 15$

(七三) 米八石二斗八升を男一人に三斗六升づつ又米七石三斗六升を女一人に三斗二升づつの割合に與ふる所の男女何れが幾人多きか。

答各二十三人づつなり

(七四) $18 \times 15 = 270 \times 5 \div 37 = 5$

(七五) 間口二十間奥行十五間の地面の内、八十五坪の家をたて、三十五坪の庭を作るときは、あき地は幾坪となるか。

答百八十坪

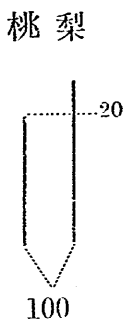
(七六) 此のあき地を、一ヶ月一坪五錢の地代にて貸すときは、一ヶ年の地代何程なるか。

答百八圓

(七七) 桃と梨との和が百にて、桃より梨は二十多しといふ、各幾つなるか。

答梨 六十 桃 四十

〔注意〕 此の算法は實物に就きて、兒童に解し易く説示すべし。例左の如し。



(七八) 上下二冊の本あり、其の紙數合せて二百枚にして、上は下より四十枚多し、各幾枚なるか。

答上百二十枚 下八十枚

(七九) 二筋の紐をつなぐときは、二丈となり、又長きものと短きものとの差は六尺あり、各幾尺なるか。

答一丈三尺 七尺

(八〇) $48 + 67 + 35 - 123 \times 6 = 162$

〔詰算〕

(一) 四十八枚ある本を、毎日三枚づつ十日よむときは、幾枚のこるか。

答十八枚

(二) 右の残りを毎日二枚づつよめば、幾日にて終るか。

答九日

(三) 右の本を、始より幾日にてよみ終りしか。

答十九日

小學算術尋常科教員用卷三終

明治三十四年十月三日 印刷
明治三十四年十月六日 發行

小學算術尋常科教員用全四冊

定價各金參拾五錢

文學社編輯所編纂

東京市日本橋區本町四丁目十六番地

發行兼印刷者 小林義則

東京市日本橋區本所町四丁目十六番地

發兌文學社

東京市神田區錦町三丁目一番地

印刷所 文學社工場

著作權登錄濟

32
16
62

